

令和6年6月9日  
＜佐々木 朗＞

函館レクリエーション協会創立50周年記念事業に参加して

6月9日、函館アリーナで実施されたレクリエーション大会にスタッフとして参加させていただきました。ビデオやテキストでレクリエーションの目的を「心を元気にすること」ということを学びました。来ていただいた皆様にも、そして、スタッフとして活動する私も、心が元気になるようにということを意識し、運営に協力させていただきました。

私は、スタッフチームの一員としてシャフルボードを担当させていただきました。最近ブームのモルックやおなじみの的当てや輪投げなどと比べると、周知度は低いと思われるので、スタッフで役割分担をして、ルールや方法をわかっていただいた上で、競技に参加していただきました。ほぼ全員が初めての競技になるわけですが、最初は緊張の表情を見せていた参加者も、練習をして要領がわかってくると、皆さん、すっかり本気モードです。真剣な表情あり、「やられた。」というような表情あり、そんな中にも笑顔がいっぱいありました。

競技が終わって、「ありがとうございました。」「こちらこそ、また機会がありましたら、どうぞいらしてください。」との挨拶は、お互い初対面ではありましたが、100%の笑顔でした。競技が終了し、あと片付けが終わったころには、快い疲れの中、心はとても元気でした。

昨今、人と人との人間関係が薄くなり、コミュニケーションも若者を中心にネット上が中心となりつつあります。しかし、このような時代だからこそ、レクリエーション活動を通して、コミュニケーションを図るによって、心が元気になり、明日からの生活にも活力が出てくると思います。

私は、今回レクリエーション講座で学んだことを、地域の活性化に努めていきたいと思っております。隣近所、そして、地域の皆さんが、様々なレクリエーション活動を通して、笑顔で挨拶を交わすようになり、困った時には声をかけてあげられるような地域コミュニティづくりの一翼を担うことができると思っております。

これからも先輩から、多くのことを学び、リーダーシップを執ることができるよう、努力を続けたいと思います。

(6/9 執筆  
佐々木 朗)

